

県リーグ戦大会参加における諸注意

- 1 リーグ戦の趣旨を理解し、良いゲームが展開されるようにする。
コーチは登録メンバー全員にプレータイムを与えるように心がける。
- 2 大会要項に従い試合を進める。試合時間の短縮は認められない。選手はJBA登録チームからの参加に限る。
- 3 体育館使用にあたっては各体育館使用上の注意を厳守する。
- 4 参加するチームはブロック長と協力しながら全チームで運営にあたる。
- 5 ゲーム終了後は、速やかにベンチを空ける。また、TO割当の場合は遅れない。
(指導者は、まず選手をベンチエリアから出して次のゲーム関係者の邪魔にならない所で話をする。)
- 6 応援について
ベンチ内での道具を使った応援はルール上禁止されている。
ベンチでのうちわの持ち込みは、応援に使わないという条件で認める。
ベンチでの応援で、フロアーを踏み鳴らすような行為は禁止する。
応援席での道具を使った応援はできる。(ペットボトル等で手すりを叩くことは禁止)
フェアプレーの精神からはずれた応援は慎む。
*競技規則の精神「観客は規則のよき理解者として、よいプレーを勇気づけるのが役目である。」
具体的には、次のような応援、行為は禁止する。
*相手を野次るような応援 *相手のファウルやミスを嘲笑するような応援
*フリースロー時にわざと視界を邪魔したり、声を発する行為
*他にもフェアプレー精神からはずれた応援
- 7 応援幕について
応援幕は、チームのベンチエリアに近い場所に設置する。
設置する時間帯は、ゲーム開始直前からゲーム終了時までとする。
設置する際、ガムテープの使用は禁止。
- 8 選手がベンチでユニフォームに着替える行為はマナーとして行わない。
- 9 ベンチマナー及び保護者の観戦マナーについて
「クリーンバスケット、クリーンゲーム」の則り、ベンチにおいて指導者、選手に関わらず健全な行動をする。相手チームへのヤジや**審判の判定に関して異議を唱えることは許されない**。(特に指導者が審判に対して度々失礼な態度で接したり、話しかけることはテクニカル・ファールの対象になるとともに、選手にも良い影響を与えない。)
もし、説明を求める場合は、競技規則に載っている通りに行く。気持ちの良いゲームにするためにプレーヤー、指導者、審判の協力が必要。

いかなる理由があっても、保護者から審判に対する異論行為、問い合わせは認められない。

10 会場設営・撤収

参加する全チームで協力して行う。選手・保護者は各チームが使用した場所の整理整頓、ゴミの持ち帰りを徹底する。

11 事後アンケートへの回答

参加したチームの責任者はリーグ戦実施後HP掲載の事後アンケートに回答する。

クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム

～暴力暴言根絶～ (JBA)

クリーンバスケット	---	バスケットの価値を高める（オフコートでの在り方）
クリーンゲーム	---	試合の価値を高める（オンコートでの在り方）
暴力暴言根絶	---	選手、審判への暴力暴言禁止

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

一般社団法人 栃木県U15カテゴリー部会